

社会資本総合整備計画(水の安全・安心基盤整備)

平成24年3月29日

計画の名称	17 雲石町における快適な暮らしの実現、良好な水環境の形成	交付対象	雲石町
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)		
計画の目標			

下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な水環境を創造する。

計画の成果目標(定量的指標)	①下水道処理人口普及率を49.5%(H22)から51.4%(H26)に増加させる。 ②重要な管渠の蓋交換実施率を32.6%(H22)から93.4%(H24)に増加させる。 ③ポンプ場における長寿命化実施率を0%(H22)から100%(H26)に増加させる。
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現状値及び目標値			備考						
	当初現状値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)							
①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)÷総人口(人)	49.50%	50.50%	51.40%							
②重要な管渠の蓋交換実施率 重要な管渠のうち、蓋交換基数(基)÷交換必要基数(基)	32.60%	93.40%	93.40%							
③ポンプ場における長寿命化実施率 長寿命化実施済みのポンプ場数(箇所)÷長寿命化実施すべきポンプ場数(箇所)	0%	0%	100%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	844.8	A	684.3	B	0	C	160.5	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	19.0%

交付対象事業

A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
都南処理区(雲石町)																	
17-A1-1	下水道	一般	雲石町	直接	-	汚水	新設	上野支線外(未普及対策)	L=0.8km	雲石町						113.2	
17-A1-2	下水道	一般	雲石町	直接	-	汚水	改築	新城・林幹線外(蓋交換)	N=220基	雲石町						42.0	
17-A1-3	下水道	一般	雲石町	直接	-	ポンプ場	改築	塩ヶ森ポンプ場	汚P×2台(1.6m ² /m)、電気設備	雲石町						52.0	長寿命化
17-A1-4	下水道	一般	雲石町	直接	-	汚水	新設	丸谷地幹線外(未普及対策)	L=2.0km	雲石町						133.2	
17-A1-5	下水道	一般	雲石町	直接	-	汚水	新設	片子沢幹線外(未普及対策)	L=5.2km	雲石町						307.5	
17-A1-6	下水道	一般	雲石町	直接	-	汚水	全種	設計	管渠 L=6.2km、ポンプ場 1箇所	雲石町						36.4	
											合計					684.3	

B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考			
										H22	H23	H24	H25	H26					
													合計						

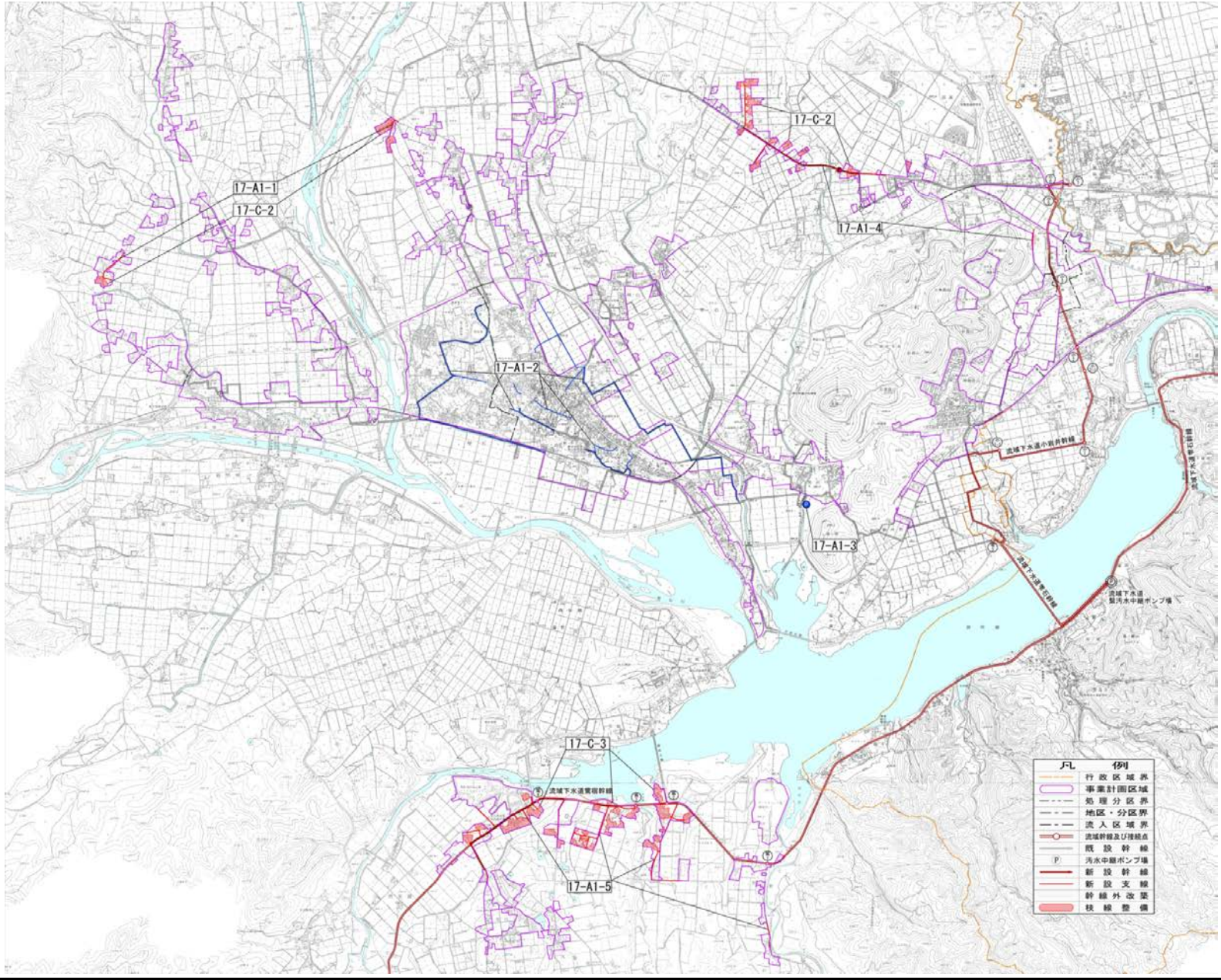
番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
都南処理区(雲石町)																	
17-C-1	下水道	一般	雲石町	直接		新設	上野枝線外整備	3.9ha	雲石町						15.0		
17-C-2	下水道	一般	雲石町	直接		新設	丸谷地枝線外整備	4.6ha	雲石町						64.4		
17-C-3	下水道	一般	雲石町	直接		新設	片子沢枝線外整備	5.3ha	雲石町						81.1		
											合計					160.5	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
17-C-1	基幹事業である支線(17-A1-1)と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に寄与する。	
17-C-2	基幹事業である支線(17-A1-4)と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に寄与する。	
17-C-3	基幹事業である支線(17-A1-5)と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に寄与する。	

計画の名称	17 雫石町における快適な暮らしの実現、良好な水環境の形成	交付対象	雫石町
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）		

都南処理区(雫石町)計画



- 凡例
- 行政区域界
 - 事業計画区域
 - 処理分区界
 - 地区・分区界
 - 流入区域界
 - 流域幹線及び接続点
 - 既設幹線
 - 汚水中継ポンプ場
 - 新設幹線
 - 新設支線
 - 幹線外改築
 - 枝線整備

社会資本整備総合交付金チェックシート

(下水道事業タイプ)

計画の名称: 雫石町における快適な暮らしの実現、良好な水環境の形成

市町村名: 雫石町

v

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画との適合等	
1)流域下水道事業と整合性が確保されている。	○
2)町総合計画と整合性が確保されている。	○
②目標値および内容の妥当性	
1)計画人口は適正な数値となっている。	○
2)蓋交換は設置後15年以上経過している。	○
3)緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 該当するものに○ <input checked="" type="checkbox"/> 施設の長寿命化対策 <input type="checkbox"/> 合流改善 <input type="checkbox"/> 浸水対策 <input type="checkbox"/> 処理場の増設 <input type="checkbox"/> 汚泥処理施設 <input type="checkbox"/> 地震対策	○
II. 整備計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)下水道整備が、他の汚水処理施設の設置より優位となっている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が得られる事業で構成されている。	○
2)河川等の水質改善に効果がある。	○
3)降雨等により生じる災害を防止する施設を設置する計画となっている。	○
III. 整備計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1)町の下水道中期計画に基づいた計画になっている。	○
2)継続的な汚水処理の展開が見込まれる。	○
3)地域の実状に応じた計画になっている。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○
3)下水道法の事業認可を取得している。	○